

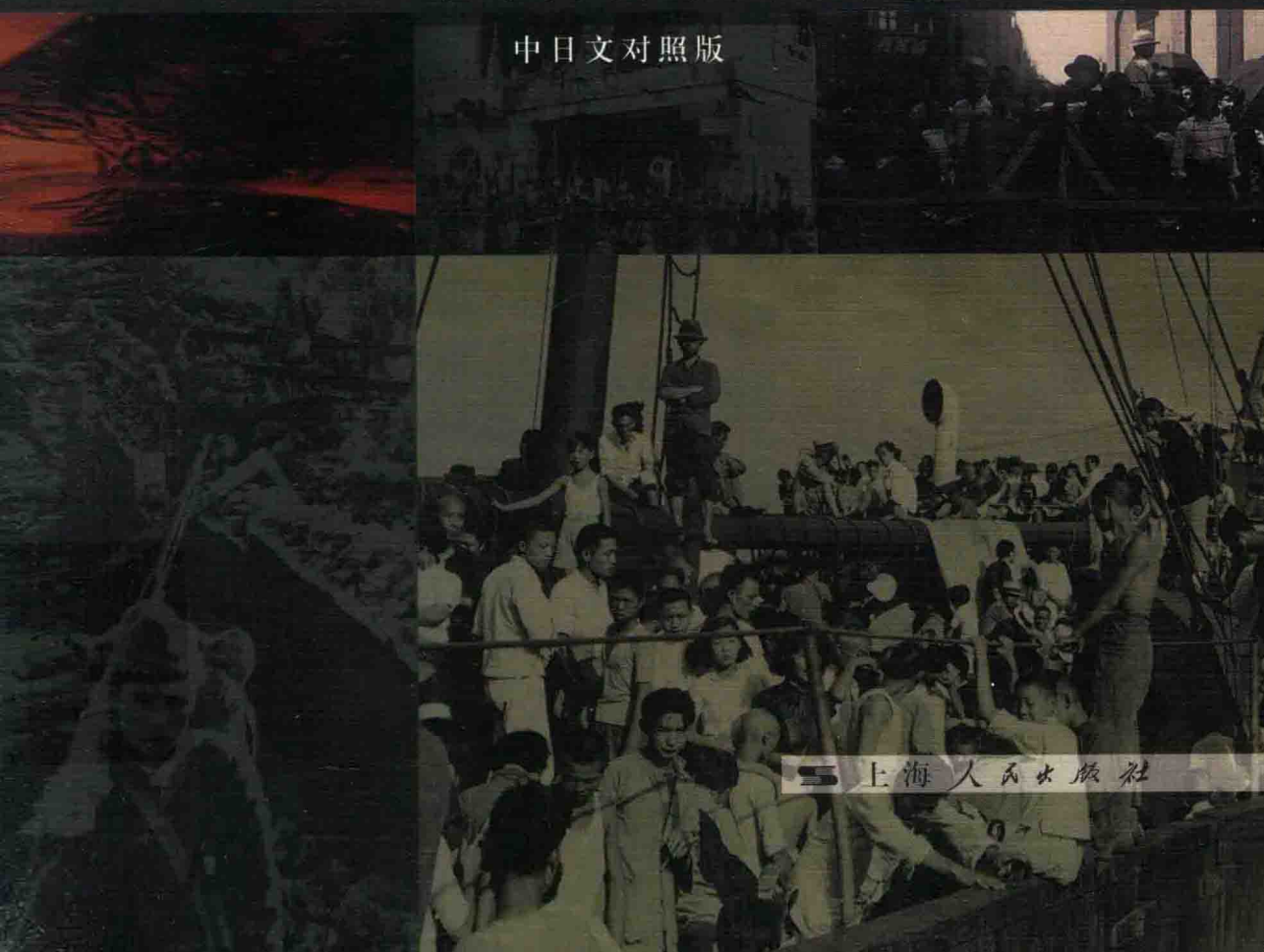
上海市档案馆 编



# 日军占领时期的上海

日本軍占領時の上海

中 日 文 对 照 版



上海人民出版社

上海市档案馆 编

# 日军占领时期的上海

日本軍占領時の上海

中日文对照版



上海人民出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

日军占领时期的上海:汉日对照/上海市档案馆编.  
上海:上海人民出版社,2010  
ISBN 978-7-208-09217-4

I. ①日... II. ①上... III. ①侵华事件-日本-史料-汉、日②抗日战争-上海市-史料-汉、日  
IV. ①K265.606②K295.1

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 051341 号

责任编辑 孙 瑜  
装帧设计 樊 琳  
美术编辑 甘晓培

日军占领时期的上海

(中日文对照版)

上海市档案馆 编

世纪出版集团

上海人民出版社出版

(200001 上海福建中路 193 号 www.ewen.cc)

世纪出版集团发行中心发行

浙江新华数码印务有限公司印刷

开本 787×1092 1/16 印张 14.75 字数 441,000

2010 年 5 月第 1 版 2010 年 5 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-208-09217-4/K·1670

定价 48.00 元

《日军占领时期的上海》编辑委员会

主 任 吴 辰

编 委 仓大放 顾林生 程绣明 朱金铃 马长林 吴林康

邢建榕 庄志龄 戴志强 张 新 陈德平

编 著 邢建榕 庄志龄 陈正卿

翻 译 渡边清

# 前言

1937年,日本帝国主义发动全面侵华战争,给中国人民带来了深重的灾难,八年的战争创伤,八年的痛苦磨难,留下的是深深的难以磨灭的记忆。

日本帝国主义在对中国的侵略过程中,始终把上海作为一个重要目标,处心积虑,长期控制和掠夺。1932年日本在上海发动一二八淞沪战争后,上海民族资本经济严重受挫,刚刚起步的现代化进程被迫延缓。但日本帝国主义侵略中国的脚步并未停止,1937年又在上海挑起八一三事变,发动了对上海的第二次侵略战争。八一三淞沪战争是抗战时期最酷烈的战争之一。日军对上海城乡进行持续的空中大轰炸,大面积地纵火焚烧工厂、民宅和学校,大肆屠杀手无寸铁的无辜平民等,这无疑是对人类文明的肆无忌惮的破坏和公然践踏。据统计,上海平民在此次战争中的死亡人数不下10万人,上海所遭受的经济损失也极其惊人,闸北、宝山、南市、浦东、松江等地几乎被夷为平地,遭受损失的工厂达100%,上海租界也在大轰炸中损失惨重,受损工厂达到70%。日军的侵略还使得数百万上海人民流离失所、妻离子散,成为漂无定踪、饱经苦难的城市难民。

战争爆发后,日军迅速占领了闸北、虹口、杨树浦一带,并将公共租界北区和越界筑路地段据为己有。随着日军不断增兵,战争规模日益扩大,至1937年11月12日,日军占领南市,上海华界地区全面沦陷,只剩下作为“中立区”的上海两租界独峙其中,史称“孤岛”。

在“孤岛”时期,日本侵略者通过扶植、操纵汉奸傀儡政权,对上海占领区实行法西斯殖民统治,并不断对租界进行军事威胁和势力渗透,组建特务机关,实行血腥恐怖政策;在经济上加紧掠夺,将上海变成其全面侵华的经济基地;在思想文化方面,推行所谓的“思想战”,企图从精神上、思想上、文化上瓦解人们的反抗意识,模糊人们对侵略者的认识,使人们最终屈服于侵略者的统治。

1941年12月8日,日军偷袭珍珠港,太平洋战争爆发。与此同时,日军占领上海公共租界,法租界也名存实亡,所谓的“孤岛”时期宣告结束,整个上海全面沦为日本侵略者的独占殖民

地。为强化对上海的殖民统治,日本统治者在上海推行了清查户口、保甲制度以及“清乡”等一系列措施,并加强对汪伪特工机构的控制,在租界内搜捕镇压抗日爱国人士,进行“恐怖封锁”、“恐怖演习”等,对逮捕的人员进行残酷的法西斯刑讯,企图以此来消灭上海的抗日力量,达到镇压人民反抗,维护其侵略统治的目的。在经济上,日本侵略者对上海实行了竭泽而渔的经济掠夺政策。通过各种物资统制(如米粮统制、棉纱统制、粉麦统制等)、发行军用票和伪中储券,以及“军管理”、“军征用”等手段,日本侵略者掏空了上海所有的民生资财,包括英美等日本“敌性国”在上海租界的资产。上海市场物价腾飞,米珠薪桂,相继出现的米荒、菜荒、茧荒、原料荒、煤炭荒、电力荒等等,使上海居民生活日益艰难,抢米风潮接连发生。在日本侵略者穷凶极恶的破坏、占领和掠夺下,至抗战后期,上海经济陷入了全面崩溃的境地。直至抗日战争全面胜利,上海才结束了恐怖、暗杀、逮捕、混乱的局面。

在上海市档案馆所藏档案中,抗战时期上海的文献和图片是比较丰富的。近些年来,我们已经编辑出版了100余万字的《日本侵略上海罪行史料汇编》、45万字的《日本在华中经济掠夺史料》和大型画册《抗日战争与上海》等,并参加了相关学术著作的撰述。在这些有关上海抗战史的出版物中,我们主要是将有关档案史料予以编辑整理,原汁原味地呈现给读者,特别是为学术界提供了研究的第一手材料。它具有一种原始的而又不容置疑的权威性,真实、深刻地揭露了日本帝国主义的侵略罪行。

在整理编纂档案史料的过程中,我们也发现了大量直接反映日本侵略上海罪行的照片资料,其中无不浸透着斑斑的血泪和无声的愤怒,令人触目惊心。这些珍贵的照片,大都是爱国人士冒着生命危险保存下来的,也有一些发表在日本侵略者为炫耀“战功”而编辑出版的画册内。这次,我们精选了400多幅照片编辑成这么一本图册。由于年代久远,有的照片已经变黄发脆,少数选自当时报刊上的照片也有些模糊不清。即便如此,人们还是可以从中直观地看到,日本的侵略使上海人民与这座城市所遭受的深重的战争创伤。

我们相信,历史的印记,并不会因时间的推移而消失,也不会因刻意的安排而改变,从某种意义上说,历史就是一种力量的积淀。

# 前言

1937年、日本帝国主義は全面侵略戦争を開始し、中国人民に深刻な災難を与えた。この8年間の戦争の傷跡と苦難は、忘れ難い記憶として、我々の心に深く残っている。

日本帝国主義は中国への侵略を、とりわけ上海を終始ひとつの重要な目標として、長期的な統制と略奪を目指していた。1932年、上海で発生した第1次上海事変以後、日本は上海の民族資本に大きな打撃を与え、成長し始めたばかりの近代化を遅らせた。しかし、日本帝国主義の中国への侵略は止まることなく、1937年に第2次上海事変を挑発し、上海への侵略が再び始まった。第2次上海事変は抗日戦争において、最も苛酷な戦争の一つである。日本軍は上海の街を継続的に空爆し、工場や民家、学校等広範囲に延焼させ、公然と罪の無い市民を虐殺した。これらは明らかに人類文明への傍若無人な、破壊と蹂躪行為である。統計によると、この戦争で死亡した上海市民は10万人以上と言われ、上海が被った経済的損失は計り知れない。閘北、宝山、南市、浦東、松江等は殆ど瓦礫と化し、全ての工場が被害を受け、租界地の爆撃の損害も甚大で、被害を受けた工場は70%に達した。更に日本軍の侵略により、数百万人の上海人の家屋は破壊され、家族は離散し、放浪による苦難の生活を強いられた。

戦争発生後、日本軍は一举に閘北、虹口、楊樹浦一帯を占領し、併せて公共租界北部と越界路を占領した。続いて兵員を増派させ、戦争は日々拡大し、1937年11月12日、日本軍は南市を占領、上海華界地区は全面的に陥落、「中立地区」として“孤島”と呼ばれる2つの租界地区がその中に残ったのみであった。

“孤島”の時期、日本軍は漢奸や傀儡政権を育成操作して、上海の占領地区にファシズム的な統治を行い、常に軍事威嚇と勢力の浸透を狙い、また特務機関を組織して、血なまぐさい恐慌政策を執った。そして経済上の略奪を強め、上海を中国侵略の基地にするとともに、また思想、文化では、所謂“思想戦”を推し進めて、精神的、思想的、文化的な敵対意識を崩し、侵略者であることをカムフラージュし、人々を最終的に侵略者の統治に屈服させようとした。

1941年12月8日、日本軍は真珠湾を奇襲して太平洋戦争に突入した。同時に日本軍は共同租界を占領し、フランス租界も有名無実となって、所謂“孤島”は終了し、上海は全て日本侵略者の植

## 日军占领时期的上海

### 日本軍占領時の上海

民地となってしまった。上海の植民地統治を強化するために、日本の統治者は戸籍を調べ上げ、保甲制度及び「清郷」等の一連の措置を実施して、汪偽僞特工機関の支配を強化し、租界内の抗日愛国の同土を捕捉し、「テロによる封鎖」や「テロ訓練」等を行い、逮捕者にはファシズム的拷問を行い、上海での抗日の力を抹殺して人民の反抗を鎮圧し、その侵略的統治を確保した。経済においては、日本侵略者は目先の利益だけを求めた経済的略奪政策を実行した。各種の物資統制（例えば、食糧統制・綿布統制・小麦粉統制等）を行い、軍票や偽貯備券を発行し、また「軍の管理」「軍の徴用」等の名目で、日本侵略者は上海が所有する民生用資材や、英米等の日本の敵国租界資産をも含め、全て接収した。上海の市場は物価が高騰し、米、野菜、繭、原料、ガス石炭、電力など数々の不足により、上海市民の生活は日々困難を極め、米の奪い合いが連日続いた。日本侵略者の極悪非道な破壊と占領・略奪により、抗日戦後期の上海経済は全面崩壊の危機に陥った。しかし、抗日戦争に全面勝利すると、上海はやっとテロ、暗殺、逮捕などの混乱の局面から抜け出す事ができた。

上海市档案馆所蔵の档案（保存書類）の中で、抗日戦争当時の上海の文献や写真は比較的豊富である。近年、档案馆はこれらの資料を元に100万字に及ぶ《日本侵略の上海罪行史料集編》、45万字の《日本の中国における経済略奪史料》と大型写真集《抗日戦争と上海》等を出版し、その他関連学術書の作成にも参加している。我々は関連史料を編集整理してこれら上海抗日戦争史の出版物を作成し、オリジナルの資料をそのままの状態で読者に提供し、特に学术界に研究のための一次資料を提供した。これらの資料には疑いをさしはさむ余地のない真実があり、日本帝国主義の侵略の罪が如実に、しかもつづさに明らかに記録されている。

関連史料を編纂整理する過程において、我々は日本が上海を侵略した当時の犯罪行為を記録した大量の写真を発見した。それらは声なき怒りを感じない者はいないくらい、血と涙が染み込んだ、驚愕の写真であった。これら貴重な写真の殆どは、愛国人士が命の危険を冒して保存してきた物であるが、その他の一部は、日本の侵略者が「戦果」を誇示するために発表した物であった。我々は今回、400枚以上を厳選し、編集したのがこの写真集である。年代が古くなっているため、写真によっては色あせてボロボロになったものもあれば、また、当時の新聞と雑誌などに掲載されたものではっきりしないものも少数ある。しかし、これらの写真からは、日本軍の侵略による、上海市民とこの都市が受けた深刻な傷跡を、人々は直に見ることができるであろう。

歴史の記録は、時間の変化と共に消失するものではなく、また、人為的に変更できるものでもない。ある意味では、歴史は一種の力の蓄積であると、我々は信じている。

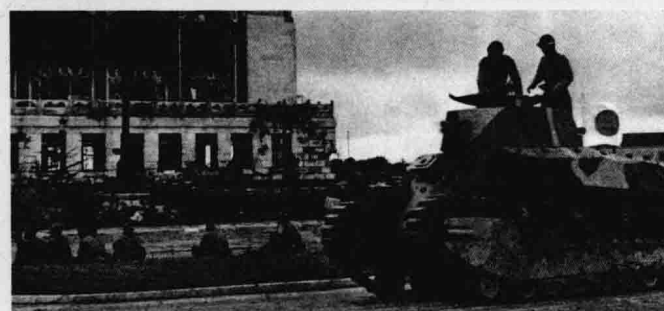
# 目次



|     |                |
|-----|----------------|
| I   | 前言             |
| 2   | 1. 硝烟弥漫的淞沪战场   |
| 16  | 2. 呼啸而下的炸弹     |
| 34  | 3. 浦江在哭泣       |
| 44  | 4. 危险的“安全岛”    |
| 54  | 5. 上海华界沦陷      |
| 70  | 6. 难民！难民！      |
| 88  | 7. 粉墨登场的跳梁小丑   |
| 102 | 8. 恐怖的孤岛       |
| 118 | 9. 蛊惑人心的“思想战”  |
| 132 | 10. 大上海沉没      |
| 146 | 11. 竭泽而渔       |
| 160 | 12. 全面的殖民统治    |
| 174 | 13. “敌侨”与“日侨”  |
| 192 | 14. 铁蹄下的呻吟     |
| 210 | 15. 尾声：日军投降在上海 |
| 222 | 再版后记           |
| 224 | 翻译者后记          |

# 目次

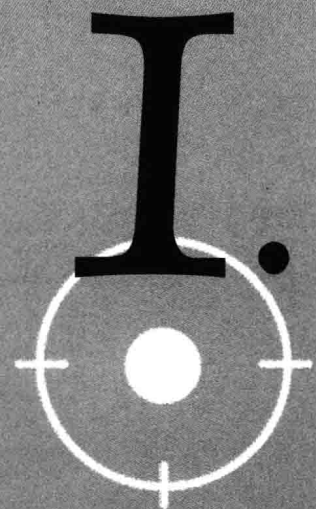
|     |                     |
|-----|---------------------|
| 3   | 前言                  |
| 3   | 1. 硝煙満つる淞滬戦場        |
| 17  | 2. 音をたてて落下する砲弾      |
| 35  | 3. 黄浦江が泣いている        |
| 45  | 4. 危険な「安全島」         |
| 55  | 5. 上海華界陥落           |
| 71  | 6. 難民！難民！           |
| 89  | 7. 政治の舞台に登場した悪党     |
| 103 | 8. 恐怖の孤島            |
| 119 | 9. 人心を惑わす「思想戦」      |
| 133 | 10. 大上海沈没           |
| 147 | 11. 徹底的な搾取          |
| 161 | 12. 全面的な植民地統治       |
| 175 | 13. 「敵国居留民」と「日本居留民」 |
| 193 | 14. 蹄鉄下の呻吟          |
| 211 | 15. 終曲…日本軍上海にて投降    |
| 223 | 再版あとがき              |
| 224 | 翻訳者後記               |

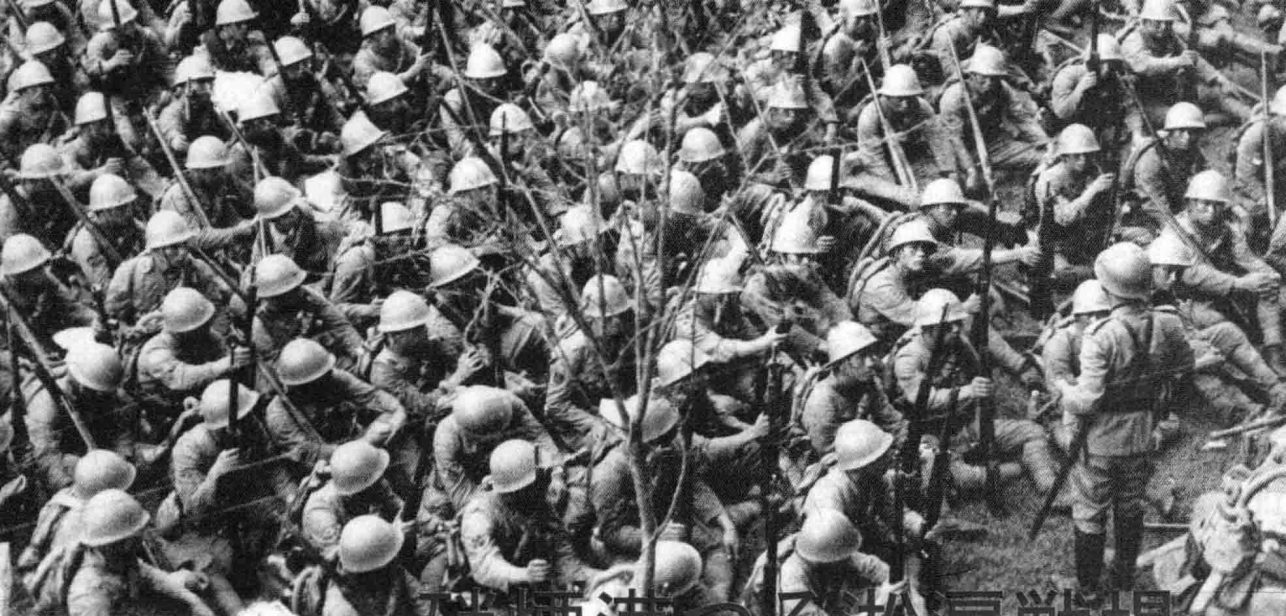




## 硝烟弥漫的淞沪战场

1937年7月卢沟桥的枪声，揭开了日本全面侵华的战争序幕。日本侵略者在进攻华北的同时，又在上海不断挑衅，制造事端。8月9日“虹桥机场事件”发生后，日本内阁会议立即决定组成以松井石根为司令官的上海派遣军，进攻中国最大的经济中心上海，迫使中国屈服。8月13日，驻沪日军向驻守闸北的中国军队射击，我军奋起反击，八一三淞沪战役由是爆发。我军积极出击，围攻日军据点。8月下旬，日军大批援军陆续登陆，向吴淞、宝山等地发起进攻，我军在淞沪战场与日军进行了殊死较量，在宝山、罗店、浏河一线展开阵地拉锯战，双方死伤惨重。中国军队的顽强抵抗，打破了日军企图“速战速决”的如意美梦，迫使日本当局改变侵华战略计划，在华北战场转攻为守，停止对青岛地区的军事行动，并从华北战场和本土抽调兵力，投入淞沪战场。短短两个月间，日军集聚在上海的总兵力已有2个军9个师团，人数达20余万。淞沪战场面临着一场更大规模的厮杀。





## 硝煙満つる淞滬戦場

1937年7月、盧溝橋の銃声は日本が中国を全面侵略する幕開けであった。日本の侵略者は華北を侵攻すると同時に、上海でも戦争をしかけた。8月9日「虹橋空港事件」が発生した後、日本政府はすぐに松井石根を司令長官とする上海派遣軍の編成を決定し、中国最大の経済都市上海に侵攻して中国に屈服を迫った。8月13日、日本の駐留上海軍（海軍上海特別陸戦隊）は閘北地区を守備する中国軍への攻撃を開始し、我が軍はこれに反撃して、第2次上海事変が勃発した。我が軍は積極的に攻撃し、日本軍の拠点を包囲した。8月下旬、日本軍は大量の援軍を投入し、呉淞、宝山に向けて反撃を開始。淞滬戦場において我が軍は日本軍と死闘を繰り広げ、宝山、羅店、瀏河では一進一退の戦闘が続き、双方の死傷者は甚大であった。

中国軍の頑強な抵抗は日本軍が当初予測した「速戦即決」とは行かず、日本当局は中国侵略計画を変更せざるを得なくなり、華北の戦場は守勢に転じ、青島地区の軍事行為を停止して、華北と本土からの派遣軍を淞滬戦場に投入した。わずか2カ月で上海の日本軍は2個大隊、9個師団、兵員20数万に達し、淞滬戦場は更なる大規模な殺戮の場に晒されたのである。

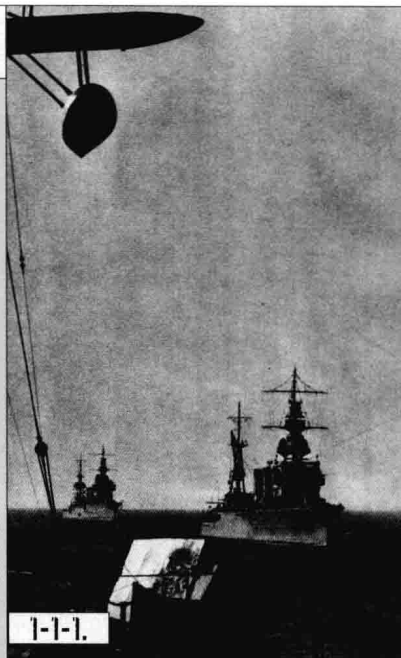
# 日军占领时期的上海

日本軍占領時の上海

1-1.

七七事变爆发后，日军积极推动全面对华战争。7月8日，长江沿江各口岸的日本军舰迅速向上海集中，至8月初，上海已经聚集各类军舰30余艘，驻上海的日军海陆战队人数已逐渐增至约1.2万人。8月9日，日军蓄意制造的虹桥机场事件，成为日军再次发动侵沪战争的主要借口。

七七事变（盧溝橋事変）勃発後、日本軍は積極的に対中戦争を推進した。7月8日、揚子江沿岸の日本艦隊は素早く上海に集結し、8月初旬には30隻余りの各種軍艦を集結させて、上海における日本海軍陸戦隊兵員を約1.2万人に増強した。8月9日、日本軍の策略である虹橋空港事件の発生は、上海への日本軍再侵攻の口実となった。



1-1-1

七七事变爆发后，迅速聚集至上海的日本军舰包括第三舰队的大型巡洋舰、轻巡洋舰、驱逐舰、炮艇等30余艘，从吴淞口一直到浦江江面，弥漫着浓浓的火药味道。图为云集于吴淞口的日舰。

七七事变（盧溝橋事変）勃発後、第三艦隊に属する大型巡洋艦、軽巡洋艦、駆逐艦、小砲艦等30隻余りの日本軍艦は迅速に上海に結集し、吳淞口から黄浦江まで、濃い硝煙の臭いに包まれた。写真は吳淞口に集結する日本艦隊。

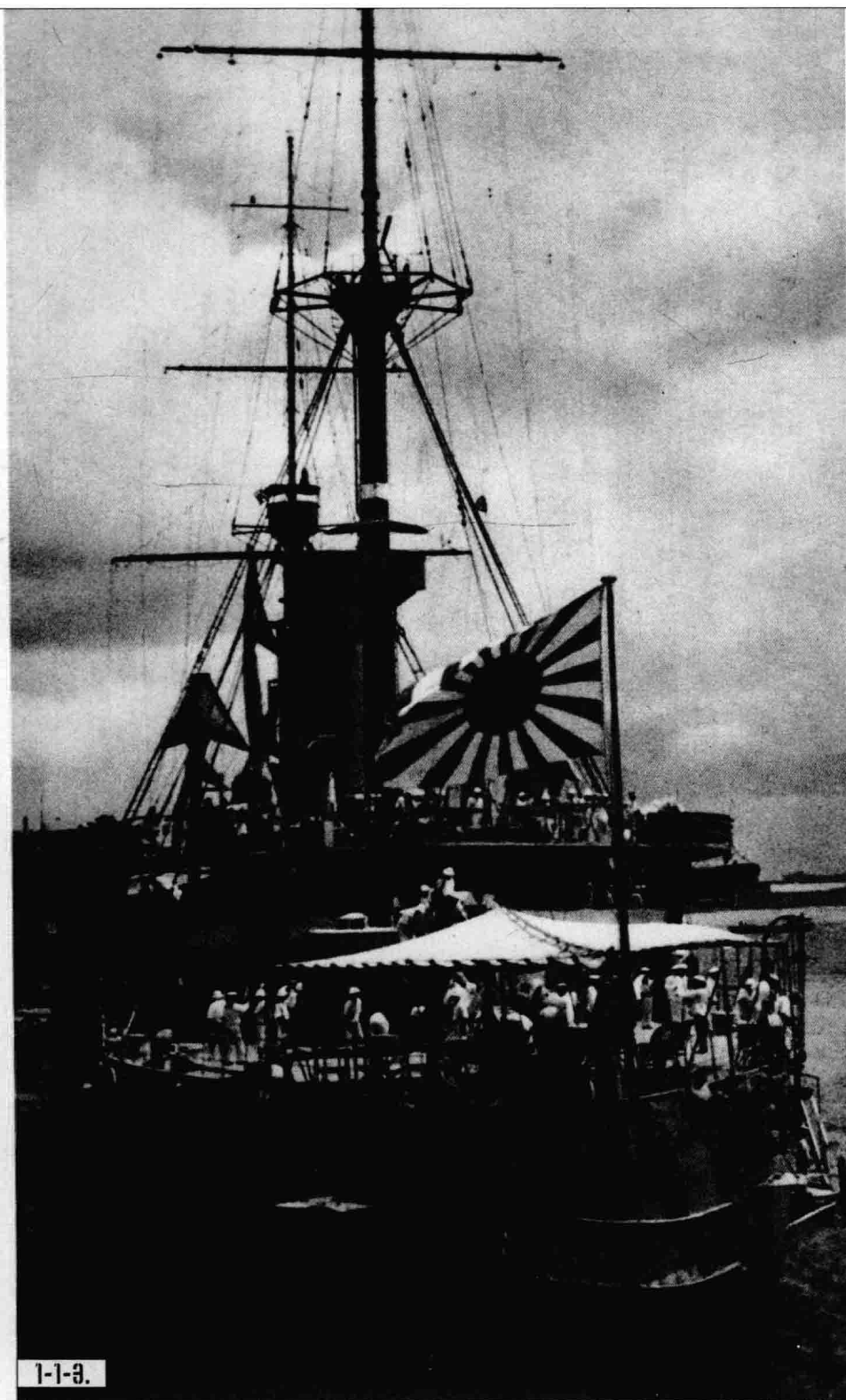
1-1-2

日军在挑起侵略战争之前，总要频频举行大规模的军事演习，进行武装恫吓，制造事端，寻找借口，这已经成为一种“惯例”。图为1937年1月4日，日军海军陆战队在南京路进行武装示威游行。在日本自己编绘的图文说明中，称之为“通过”。

日本軍は侵略戦争を挑発する前、大規模な軍事演習を頻繁に行い、武力威嚇や紛争を起こし、紛争の口実を探す事は一種の「慣例」になっていた。写真は1937年1月4日、日本海軍陸戦隊が南京路で行った武装示威行進。日本軍はこの写真の説明に「パレード」と書いている。



1-1-2.



1-1-3.

1-1-3  
停泊在黄浦江上的日军第三舰队旗舰出云号。

黄浦江に停泊中の日本海軍第3艦隊旗艦「出雲」。

## 日军占领时期的上海

### 日本軍占領時の上海



1-1-4

1937年8月9日下午，日军陆战队驻沪西中队队长大山勇夫和一等兵斋藤要藏驾车强闯虹桥机场，被中国守兵击毙。日方即以虹桥事件为借口，向中国政府施压，并加紧调兵遣将，准备侵略战争。左图为当时冲入机场的日军汽车。下图为开上上海街头的日海军陆战队装甲车辆。

1937年8月9日午後、上海海軍陸戦隊滬西中隊長の大山勇夫中尉と1等兵齋藤要藏は車で虹桥空港に無理やり入り込もうとして、中国の守備兵と衝突し射殺された。日本側はすぐに虹桥事件を口実に、中国政府に圧力をかけると共に、軍隊を派遣して侵略戦争の準備を始めた。左の写真は当時、虹桥空港に無理やり入り込もうとした日本軍の自動車。下の写真は上海市街に侵攻した日本海軍陸戦隊の装甲車輛。



1-1-4.



1-1-5

日军侵沪大本营在位于北四川路的海军陆战队司令部。院内日军正在集合操练,准备参加侵沪战争。

上海侵攻の日本軍大本営は北四川路の海軍陸戦隊司令部にあった。中で日本軍は集中訓練を行い、上海侵略戦争への参加準備を行った。



1-1-6

8月11日,日本内阁紧急会议决定向上海派遣陆军,接到命令的佐世保舰队全速向上海进发。当晚16艘日本军舰抵沪,数千名海军陆战队在上海完成登陆,做好了发动战争的准备。

8月11日、日本政府は緊急会議を開き、陸軍の上海派遣を決定。命令を受けて佐世保艦隊は全速力で上海に向けて出航した。その夜、16隻の軍艦が上海に接岸、数千名の海軍陸戦隊員が上陸し、戦争の準備は整った。



I 硝烟弥漫的淞沪战场